



First Friends Family Set

身近な家族を表すフィギュアを使ったごっこ遊びです。家族の関係を言葉で表したり、日常生活の習慣を探ったり、気持ちについて話したりすることを通して、自己理解や社会性、情緒面の発達を支えます。

内容

フィギュア5体、ベビーベッド1台

対象市場

家庭・教育の両方

セットの内容



First Friends Mother



First Friends Father



First Friends Grandmother



First Friends Grandfather



First Friends Baby with Crib
9.5 × 8.5 × 12 cm

子どもが学ぶこと



社会的な関係の理解

家族の中で誰が誰か、誰が誰のお世話をするか、それぞれが一日に何をするか。



言葉

家族を表す言葉、名前、「わたしの」「あなたの」、そしてごっこ遊びで交わす初歩的な言葉のやり取り。



感情リテラシー

眠い、おなかがすいた、うれしい、怒った。フィギュアに与えた気持ちは、自分の気持ちより言葉にしやすいものです。



順序立て

起きる、朝ごはん、お出かけ、帰宅、お風呂、おやすみ。一日には順序があり、お話にも順序があります。



手先の器用さ

腕と足をカチッと動かして、座る、立つ、手を振る姿にします。赤ちゃんをベッドに入れたり、出したりします。



はじめての数

何人いる？ いすはいくつ？ 大きい・小さい、年上・年下。

ひとつのセットで5年間遊べる

1〜2歳

フィギュアを握り、おなかを押して鳴る音に気づき、赤ちゃんをベッドに出し入れする

2〜3歳

フィギュアの名前を言い、声をつけ、赤ちゃんにごはんをあげて寝かせる

3〜4歳

仲間と日課を演じ、フィギュアを自分の家族と結びつける

4〜5歳

3人の仲間と一日を順番どおりに語り、それぞれの気持ちを話す

はじめの日に試す



赤ちゃんをベッドへ、ベッドから

12〜24か月・赤ちゃんをねんねさせて、起こします。そのたびに「おやすみ」「おはよう」と言います。



これはだあれ？

18か月〜3歳・家族のフィギュアを1体ずつ指しながら、誰なのか名前を言います。次に、それぞれのフィギュアをお子様自身の家族の誰かと結びつけます。



うちの一日

2〜4歳・起きる、朝ごはん、外遊び、帰宅、お風呂、おやすみ。一日を順番に演じます。

テーマ

わたしの家族

家庭での暮らし

世代

気持ち

毎日の日課

個人としての成長と社会性の発達

